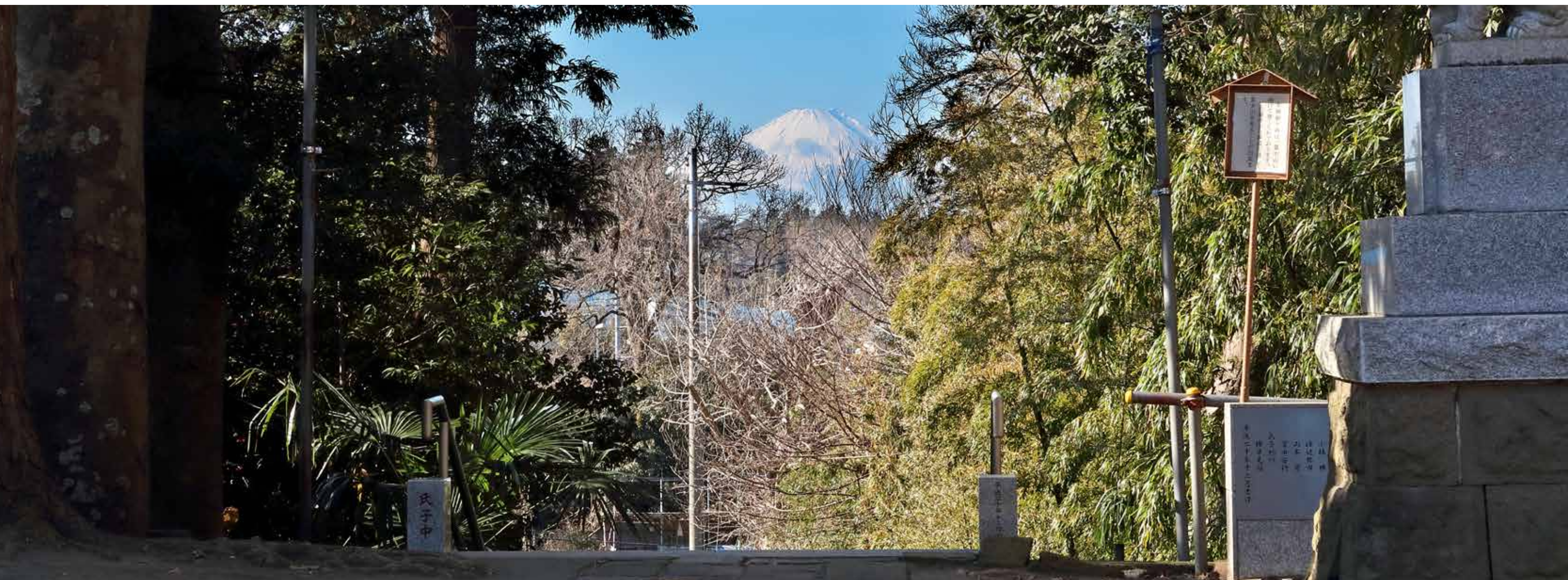


今年は湘南慶育病院から年頭所感を発信しました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2019年（平成31年）の健育会グループの仕事始めは1月4日（金）となりました。

平成最後の年となる今年の年頭所感は、一昨年に開院した湘南慶育病院からテレビ会議システムを使ってグループの全病院・施設に年頭所感を発信しました。

冬の澄んだ青空のもと、年頭所感を発信する前には湘南慶育病院が位置する神奈川県藤沢市の御嶽大神へ院長やマネージングディレクター達と参拝し、湘南慶育病院の病院業務の安全、職員の成長、医療を通じた地域への貢献、湘南慶育病院と健育会グループの更なる発展などを祈願いたしました。

御嶽大神を訪れ参道から振り返ると、見事な富士山が青空の中にくっきりと見え、気持ちの良い1年のスタートを切ることができました。



その後、湘南慶育病院からグループの全職員に向けて年頭所感を心を込めて話しました。（その内容は2019年元旦にアップした理事長トークvol.194に全文を掲載しています。）

また、年頭所感に加えて以下の内容を話しました。



今年は年頭所感の他に、この「健育会グループは何を考え、どこへ向かおうとしているのか」という冊子を作りました。この冊子は、新入職員の皆さん・途中で入職された皆さんに向けて入職半年後にお話している内容をまとめたものです。

この冊子は、健育会グループが一体何を考え、他の医療法人とどこが違って、どこへ向かおうとしているのか、そのためには何が必要か。また、その中での職員の皆さんの役割、そして指針となる具体的なミッション・ビジョン・バリュー等を中心にまとめています。

皆さんがこの冊子を通じてこれまでの私の話をおさらいし、皆さんなりに理解し、今一度書いている内容を胸に刻んで欲しいと考えています。

今年は健育会グループにとって真剣勝負の年です。健育会グループが輝かしい70周年を迎えられるかどうか、この1年にかかっていると言っても過言ではありません。この湘南慶育病院も鈴木院長を中心に非常に頑張ってくれています。ぜひ職員皆さんが一丸となって風を起こして、頑張ってくれたいと思います。



この湘南慶育病院を皮切りに、今年は1月16日（水）までに全ての病院施設で、私から直接年頭の挨拶と永年勤続表彰を実施しています。また今年はグループ全体で112名の永年勤続表彰を行います。その中には20年表彰が24名、30年表彰も5名、またその中には医師も6名含まれています。皆様の長年の功績に心より感謝するとともに、改めて長く勤めてもらえる組織になってきたことを嬉しく感じています。

1月4日(金)

ライフケアガーデン湘南 — 神奈川 —

ライフケアガーデン湘南は、ようやく少しいい風が吹いてきているとの報告を本日受けましたが、まだ厳しい状況が続いています。この困難を今年は乗り越えなくてはなりません。職員の皆さん一人一人が風を起こし、小さい風が大きな風となってビジョン達成へと向かえば、ライフケアガーデン湘南も独り立ちができる施設となると思いますので、今年も頑張ってくださいと思います。



1月4日(金)

茅ヶ崎セントラルクリニック — 神奈川 —

茅ヶ崎セントラルクリニックは、健育会グループにとって初めての透析専門病院です。我々のグループに仲間入りして6年目になりますが、これまで毎年着実にしっかりとした実績をあげてくれています。これからもグループの一員としてますます頑張って欲しいと期待しています。



1月7日(月)

いわき湯本病院 — 福島 —

いわき湯本病院は、我々のグループに入ってから一貫して優等生です。グループでは一昨年大きな病院を2つ開設しましたが、いわき湯本病院はそれを支えています。今年は、いわき湯本病院そして健育会グループ全体で風を起こし、皆さんの心と技を磨いて、そして協力しあって、この厳しい困難を乗り越えて70周年を迎えたいと考えています。



1月8日(火)

竹川病院／ケアセンターけやき — 東京 —

竹川病院は、昨年も健育会グループの優等生と呼べる実績をあげてくれました。院長の田中先生が勤続10年、副院長の二宮先生が勤続20年を迎えられたことも大変喜ばしいことです。グループ病院全てが竹川病院のようになることができた時、健育会グループは素晴らしい70周年を迎えることができると考えています。特に竹川病院は健育会グループの発祥の病院でありますから、今年も職員皆さんで風を起こして理念を達成し、率先して健育会グループを引っ張って欲しいと思います。



1月9日(水)

介護老人保健施設 しおん — 宮城 —

しおんは、開設から7年目を迎えました。色々な困難がありましたが、それを乗り越えて、職員の皆さんの気持ちが施設理念の実現に向けて一つにまとまってきたと感じています。今年はさらに皆さん一人一人の心と技を磨いて、そして協力しあってビジョン達成に向けて頑張りたいと考えています。



1月9日(水)

石巻健育会病院／ひまわり在宅サポートグループ — 宮城 —

石巻健育会病院は、昨年電子カルテを導入しました。このIT化によるシステムをフルに活用し、今年はこれまで以上に地域の要望に応えながら、待っているだけでなく、どんどん外に出て地域から望まれることに耳を傾け積極的に応えていって欲しいと思います。



1月10日(木)

喬成会（花川病院／オアシス21／花ぴりか）

— 北海道 —

北海道最大規模のリハビリテーション病院である花川病院は、毎年安定した実績をあげてくれています。また健育会グループ初めてのサービス付き高齢者住宅として2015年に開設された花ぴりかについても、いい風が吹きはじめているようです。喬成会の皆さんにはこれまで通り、グループをしっかり引っ張っていただくことを期待しています。



1月11日(金)

西伊豆健育会病院

— 静岡 —

西伊豆健育会病院は、「救急を断らない」という理念の元に一貫した診療を行っています。開院以来30年もの間、病院理念がぶれないのが西伊豆健育会病院の何よりの強みです。しかし近年、少しずつ外来患者さんが減っていることが気になります。以前にも増して地域や行政から期待される一流の病院になるためには、外来の患者さんもたくさん来る病院になって欲しいと思います。

この病院は西伊豆地区にあって、医療機器が揃い、MRIやCTもあり、緊急手術もできて医師も揃っています。そしてこの地域の救急医療を一手に引き受けている日本の過疎地のモデル病院であり、健育会の誇りでもある病院です。健育会グループの先輩としてもっと風を起こし、グループを牽引して欲しいと思っています。



昨年1年間の運営状況の報告を聞いていると、しおさいにはあまり風が起きていないと感じています。職員皆が協力して小さな風でも起こし始めることが大切です。一人一人が個別に心と技を磨いても、互いに協力し合わなければ風は起きません。アットホームな施設ですから、皆で話し合い、風を起こして、素晴らしい施設になることを期待しています。



周辺地域の同じような病院や介護施設等が赤字となっていく中で、熱川温泉病院は結果を出しています。それは職員の皆さんがビジョンを共有し、そこに向かって頑張っているからだと思います。今年1年、さらに心と技を磨き、協力して風を起こし、この熱川温泉病院にしかない魅力、「素晴らしい自然環境」「温泉」「リハビリテーション」を目的に全国から患者さんが集まって来るような病院・施設になって欲しいと思います。そして、50年の歴史を持つ熱川温泉病院がさらにしっかりとグループを支えて、後押ししてくれることを願っています。

